

第16回アジア競技大会 2010											
大会名		16th Asian Games 2010 Guangzhou			日付		2010年11月25日 12:00~				
場所		Aoti Hockey Field			天候		晴れ				
試合数		5位決定予備戦			通算結果		3勝3敗				
Country				RESULT			Country				
日本 JAPAN				Full Time 0 - 2			中国 CHINA				
				Half Time 0 - 1							
Start	No.	Name		Card		Start	No.	Name		Card	
×	1	小澤和幸				×	1	SUN Tianjun			
×	2	三澤孝康				×	2	LIU Yixian			
55	3	粥川幸司				5	5	CUI Yongxin			
×	5	塩川直人				×	6	LUO Fangming			
11	6	三谷元騎				×	7	DE Yunze			
	7	長岡俊輔				×	8	JIANG Xishang			
	8	畠山学				×	9	SONG Yi (C)			
×	9	山堀貴彦				×	11	LU Fenghui			
×	10	穴井善博				11	15	LIU Xiantang			
×	11	北里謙治				30	18	MENG Jun			
×	12	坪内一浩 (CAP)				×	20	NA Yubo		27' G	
×	14	長澤克好				44	21	SUN Long			
×	19	川上啓				×	22	DONG Yang			
×	20	高瀬克也 (GK)					23	XU Rui (GK)			
10	22	小野知則				×	25	SU Rifeng (GK)			
×	23	坂本博紀		61' G		×	32	HU Huiren			
Coach		Siegfried Aikman				Coach		ZHUANG Xiaodong			
UMPIRE		TAYLOR Simon (NZL)				UMPIRE		RAMACHANDRAPURA Raghu Prasad (IND)			
Country	Min	Name		Action	Score	Country	Min	Name		Action	Score
CHN	19	LIU Yixian		PC	0-1						
CHN	65	NA Yubo		FG	0-2						
(前半)											
今大会の最終戦は、5位の座をかけて地元中国との一戦。連戦の疲れはあるものの、今後の世界ランキングにも影響するだけに、絶対に落とせない試合である。											
前の試合に続いて、今日も立ち上がりから日本選手の動きが良い。開始早々の3分、幸先良くPCのチャンスを得るが上手くストップが止まらずチャンスを逸してしまう。逆に16分、中国に左サイドを破られ決定的なピンチを作られるが、ここはNo.20GK高瀬のファインセーブでことなきを得る。しかし直後の19分にPCを与えてしまうと、警戒していたパントからのバリエーションに対応できず、先制点を与えてしまう。失点後も日本がボールをキープし、優勢にゲームを進めるが決定力を欠き、1点ビハインドのまま前半を終了する。											
(後半)											
なんとか早い時間に同点にしたい日本。後半開始直後から一方的に中国ゴールを攻めたてる。ボールポゼッションで優位に立つものの23メートルからの攻撃にアイデアがない。サークル内への単調な打ち込みが多く、チャンスらしいチャンスを作れないまま、時間だけが過ぎていく。それでも相手のミスを誘いPCを得るが、この日はパッサー、ストッパー共にミスが続き得点をあげることができない。終盤はリスクを冒して高い位置からボールを奪いにかかるが、疲労からかプレスに連動性がみられずボールを奪うことができない。そして65分、中央を破られピンチを迎える。1本目のシュートはGK高瀬が上手く飛び出しセーブするが、クリアをもたつく間にNo.20NA Yuboがボールを奪いそのまま狙いすましてシュート。これがゴール左に決まって2点差とされてしまう。残り5分は最後の力を振り絞り、なんとか得点を目指すものの、最後までゴールは遠くこのまま試合終了。0-2で敗れ、6位でこの大会を終えることになった。											
日本						56%	ボール保有率	44%	中国		
						3	シュート数	4			
						4	PC数	1			

記載責任者：高橋 章